

児童発達支援事業所における自己評価結果(公

公表： 2021年 3月 30日

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービスびっかむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			それぞれの活動区分分け
	2	職員の配置数は適切である	7			より手厚い支援の為に指導員の増員
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	常に目が届くように障害物を置かない	段差等の解消を検討する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		清掃や消毒・除菌作業	感染防止のために除菌の徹底
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			業務改善の為に更に時間を確保する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者からの発信を共有している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			支援の質に関しては保護者との連絡や面談を更に細やかに行う
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			他事業所等に意見を聞く	外部評価を導入検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		伝達研修等	専門性の高い研修の導入
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			更に細やかな聞き取りや環境の把握に努める事
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		コロナ禍で地域支援(外部との関わり)ができなくても違う形の支援を考え提供すること
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		一人の判断ではなく複数で相談している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			更には情報収集を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		得意・不得意に注意し楽しく取り組める計画を考えている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		主になる支援者を特定したり役割分担の確認	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		記録帳だけではなく職員連絡帳へ記録しまた口頭で伝えあう	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			もう少し事細やかに記録する事
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			モニタリングの際にもっと客観的に簡潔に観察する事
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		適宜連絡や面談	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		7		対象になる児童がいません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		7		対象になる児童を迎える際は主治医や医療機関との連絡体制は必要不可欠 対応する者や選任する事
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		訪問・連絡	更に細やかな情報共有
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		訪問・連絡	更に細やかな情報共有
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			研修機会を増やす事
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		今年のような状況でも交流できる方法の立案・導入
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			保護者が必要とする情報の把握
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		7		ペアトレ研修会等の提供
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			更に分かりやすく具体的な説明をする事

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		休日や時間に関係なく対応している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	コロナ禍で実現できませんでした	今年のような状況でも交流できる方法の立案・導入
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		常に即時対応	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			ブログで発信	連絡体制等の情報の提供
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			言葉の使い方や目線に更に配慮する事
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7	今年はできませんでした
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			手紙や口頭で伝え保護者への情報の提供を徹底する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		7	今年はできませんでした	一昨年のように消防等専門の機関に依頼し年2回は必ず行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		利用前に必ず確認しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7	利用前に必ず確認しています	医師の指示がある児童の利用がある場合は必ず確認理解する事
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			更に細やかに記録する事
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		伝達研修等	虐待についての理解の向上研修等の機会を増やす
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			虐待についての理解の向上研修等の機会を増やす 保護者との理解の共有

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。